

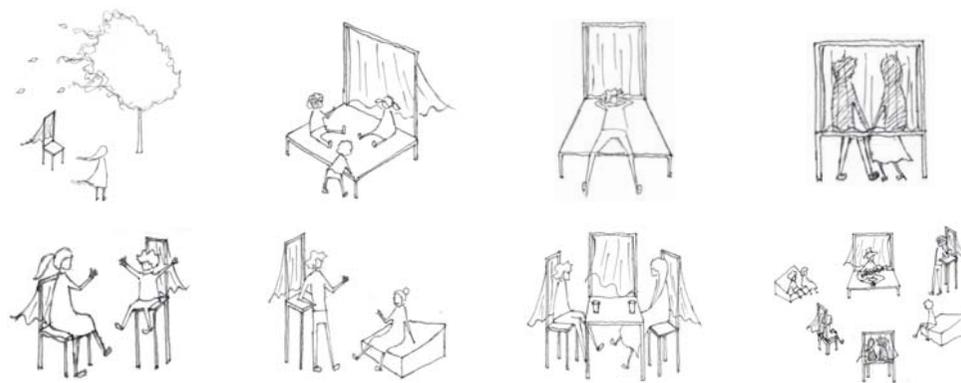


彩られた風のイスたち

風を捉え街の風景を揺らす彩られたストリートファニチャー。
 ストリートファニチャーは、街に唐突に置かれる無機質な物体ではなく、街の環境の変化に呼応しながら有機的にふるまい、風景の一部となるべきものではないかと考える。
 港町横浜を象徴する海が街へもたらす風。街を流れる風は、木々を揺らし、葉は舞い、人々の髪や髪をなびかせる。日々向きや強弱、温度を変えながら絶え間なく吹き、私たちに豊かな環境のうつろいを感じさせてくれる風のようなストリートファニチャー。また商業施設に隣接した敷地周辺に溢れる人々がまとう様々な色彩のファッションと呼応するようにしてストリートファニチャーは彩られ、その佇まいは向かいの美術館から眺めるとアートのようにも見える。
 ことなる色、ことなる大きさ。好きな色を探したり、座ったり、寝そべったり、ひじかけたり、寄り添ったり、向かい合ったり、お茶したりと、多様にふるまうストリートファニチャーは、環境に溶け込みながらまちを楽しむ。



港から吹く豊かな風に揺れる街の風景とストリートファニチャー



それぞれ異なるスケールとすることで、イスやベンチ、テーブル、ステージなど多様な使い方や組み合わせを見つながら、人々の集まり方やふるまいの風景を変化させる

